

「在田まちづくり協議会研修会」に参加して

泉中学校区4小学校のまちづくり協議会が一堂に会した「交流研修会」が昨年末に、殿原町公民館で約60人が参加して開催されました。

最初に報告した日吉ふるさと創造会議からは、「今年4月1日よりお年寄りなどの足を確保するために軽自動車2台を乗り合いタクシー方式で日吉地区を走らせます。また地域活性化のために納涼夏まつり等の事業を実施している」との報告がありました。

宇仁郷まちづくり協議会からは男女5人が参加して、11部会の活動について宇仁ふれあいバスを中心にパワーポイントで約20分間報告しました。

西在田ふるさと創造会議は、一番力を入れて取り組んでいる夏まつり等の報告を行いました。「夏まつり実行委員会は3月ごろから取り組みを始め、会議には若い人や女性に参加をしてもらい楽しくやるように心がけています。そうすることによって、子どもや若者が多く参加してくれ大変盛り上がった夏まつりが開催されています」との報告がありました。

研修会終了後、在田地区の理事さんから「在田は特に報告することがないのですが、今日の研修会は大変参考になりました。それにしても宇仁の活動はすごいですね」との感想がありました。「宇仁にも若返りを含めた組織の課題はたくさんあるのですが、一緒に頑張りましょう」と挨拶を交わして帰途につきました。(事務局)



ふれあいバスは走っています

宇仁ふれあいバス(通称 うにバス)は、令和2年10月1日の試験運行開始から今日まで運行を休止すること無く、雨の日も雪の日も走り続けています。試験運行開始から今年の1月31日までで、運行日数は325日(総走行距離41,000km)で安全運行を継続しています。累計の乗車人数は幼児と小学生を含めて1,205人(約3.7人/日)で目標人数(8人/日)の半分程度です。一部の限られた方が通院・買い物などに必要不可欠な移動手段としてよく利用されており、今後も地域住民の皆様の足として運行しますので、これからの利用を考えておられる新たな方々も含めて積極的にうにバスを活用されるようお願いいたします。

地域主体型公共交通としては、西在田地区の「はっぴーバス」と「宇仁ふれあいバス」がありますが、本年4月から日吉地区で「日吉乗合タクシー」が運行を開始する予定です。引き続き令和5年度以降に富田地区まちづくり協議会でも地域主体型公共交通(バス)の導入を検討されており、先行して運行している「宇仁ふれあいバス」についての視察のために、2月4日(金)石会長他3人の関係者が宇仁ふれあいバス事務所に来訪されました。

意見交換の内容は、①地域主体型公共交通の導入に関する宇仁郷まちづくり協議会における交流経験 ②事前アンケート調査結果と実態との乖離について ③現在の宇仁ふれあいバスの運行状況について ④運行開始後の加西市サイドからの関与について などでした。

稲木会長他3人で事前連絡を受けていた視察内容についての回答・説明を行い、富田地区・宇仁地区で運行を継続する上での問題点などについても意見交換を行い、また、宇仁ふれあいバスの車両も視察され、富田地区での地域主体型交通の導入検討に寄与できたのではと思っています。(宇仁ふれあいバス部会)



ほっとトークより

子育てほっとトークでは、子育て中のおかあさんが「ほっと」ができることが出来れば、と活動しています。

今回はアロマ教室を開いて、多くの人に参加していただきました。ストレスの多い生活の中で、ハーブなど天然由来の香りが、癒しと心の安定をもたらしてくれることを教えていただきました。マスクにつけてもいいアロマスプレーやアロママッサージ、そしてハーブティーをいただき、子育て中の悩みや色々おしゃべりをして、いい時間を過ごすことが出来ました。他地区からの参加者もあり、宇仁を知ってもらえる機会になったと思います。毎月第3火曜日10時から宇仁ふれあい館で開いています。おしゃべりをして「ほっと」と息抜きにお子様と一緒に参加しませんか？ お待ちしております。未就園児を連れての参加も大いに結構です。(子育てほっとトーク)



さくらまつりの中止について

令和4年度の事業として4月3日(日)に「さくらまつり」を開催する予定にしておりましたが、コロナ禍が終息していない状況を鑑み、今年度についても中止ということに決定しましたのでお知らせします。

これまで校長先生の思い出を掲載してきましたが、今回から歴任教頭先生の寄稿を掲載します。

宇仁小学校の思い出 ⑪～宇仁小学校で過ごした3年間～

平成7年、新任教頭として宇仁小学校に赴任しました。機会があれば勤務したいと思っていた学校なのでうれしかったです。阿部佳也校長と2年間、小路重徳校長と1年一緒でした。PTA会長は、1年目が民輪正秀さん、2年目が岡田広和さん、3年目が小川初男さんでした。PTA役員の皆様には大変お世話になりました。

さて、27年も昔の話ですので、今ではすっかり変わっているかもしれませんが、印象に残っていることを中心に当時を振り返ってみたいと思います。

① ピカピカの廊下

最初に驚いたのは、ピカピカの廊下です。顔を近づければ顔が映るくらい光っていました。今まで経験したことがありません。よほどよい木材が使われていたと思われませんが、子どもたちが真面目に一生懸命掃除してきた結果だと思いました。

② 1年生も参加する卒業式

普通は、卒業式には4年生以上が参加します。ところが1年生から全校生が参加しているのには驚きました。子ども一人一人が落ち着いているからできたことです。

③ 特色ある学校行事

餅つき大会では、体育館の外で保護者が70kgものもち米を蒸しました。体育館にはうすを5個も並べ、子どもたちは、それぞれ決められたうすの周りに集まり餅つきをしました。あんこ餅、きな粉餅、おろし餅を頂きました。宇仁幼稚園児も招待しました。

餅つき大会でついた紅白の餅を第2サルビア荘に届け、子どもたちは童謡などを歌ったり演奏したりしました。入所者の皆さんは、子どもたちが訪問してくれることを大変喜ばれているとのことでした。

(H7.4.1～H9.3.31教頭 岩本芳博)



宇仁郷のあゆみ 第一章 宇仁郷の黎明期⑦

⑦ 下水道整備による生活環境の改善

下水処理施設が出来るまでは、農村集落の生活排水は農業水路に流れ、水質が汚濁され、悪臭を放ち、害虫の発生等衛生面でもよくない状態が続いていました。この生活排水と併せてし尿処理を行い、水質の汚濁を防止して生活環境の向上を図るために、加西市が事業主体となり「農業集落排水事業」が計画されました。この事業の完成で、各戸からの下水パイプラインが整備され、トイレの水洗化と生活廃水の浄化が進み、快適な生活が出来るようになりました。(写真は左から国正コミュニティプラント、別府東処理施設、宇仁処理施設)



農業集落排水事業の概要

処理施設	町名	計画戸数	工期	総事業費
国正コミュニティプラント	国正町	86戸 (420人)	平成8年12月～ 平成10年3月	5億 8000万円
別府東処理施設	青野町・別府東町・青野原町	275戸 (1210人)	平成12年12月～ 平成14年3月	10億 3600万円
宇仁処理施設	鍛冶屋町・油谷町・田谷町・小印南町・国正町の一部・青野町の一部・馬渡谷町の一部	294戸 (1190人)	平成14年4月～ 平成15年9月	17億 4200万円